

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【公開番号】特開 2000-338533 (P2000-338533A)
 【公開日】平成 12 年 12 月 8 日 (2000.12.8)
 【出願番号】特願 平 11-149996
 【国際特許分類】

G 0 3 B 5/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 5/00 J

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 4 月 13 日 (2006.4.13)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

手ぶれの状態を検出するぶれ検出手段と、
印加された電圧に応じて屈折率が変化する部材で構成され、変化した上記屈折率により
通過する光束の角度を変化させる楔プリズムと、
 上記楔プリズムに印加する電圧を発生する電圧発生手段と、
 上記楔プリズムに印加する電圧と上記楔プリズムを通過する光束の傾き角度との関係を
 記憶した記憶手段と、
 上記ぶれ検出手段の出力と上記記憶手段の出力とに基づいて、上記電圧発生手段を制御
 する制御手段と、
 を具備することを特徴とする手ぶれ補正装置。

【請求項 2】

被写体像を画像データに変換するための撮像素子と、
 カメラの手ぶれの状態を検出するぶれ検出手段と、
印加された電圧に応じて屈折率が変化する部材で構成され、変化した上記屈折率により
通過する光束の角度を変化させる楔プリズムと、
 上記楔プリズムに印加する電圧を発生する電圧発生手段と、
 上記楔プリズムに印加する電圧と上記楔プリズムを通過する光束の傾き角度との関係を
 示すパラメータを記憶する記憶手段と、
 上記楔プリズムに基準光束を投光した状態で、上記楔プリズムへ電圧を印加し、このと
 きの撮像素子から出力された画像データに基づき、上記パラメータを決定する決定手段と
 、
 を具備することを特徴とするカメラ。

【請求項 3】

銀塩フィルムに露光可能なカメラにおいて、
 カメラの手ぶれの状態を検出するぶれ検出手段と、
印加された電圧に応じて屈折率が変化する部材で構成され、変化した上記屈折率により
通過する光束の角度を変化させる楔プリズムと、
 上記楔プリズムに印加する電圧を発生する電圧発生手段と、
 上記楔プリズムに印加する電圧と上記楔プリズムを通過する光束の傾き角度との関係を
 示すパラメータを記憶する記憶手段と、

上記楔プリズムに基準光束を投光し、且つこの基準光束の光路上に撮像素子を配置した状態で、上記楔プリズムへ電圧を印加し、このときの撮像素子から出力された画像データに基づき上記パラメータを決定する決定手段と、
を具備することを特徴とするカメラ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

【課題を解決するための手段】

本発明は上記目的を達成するために、手ぶれの状態を検出するぶれ検出手段と、印加された電圧に応じて屈折率が変化する部材で構成され、変化した上記屈折率により、通過する光束の角度を変化させる楔プリズムと、上記楔プリズムに印加する電圧を発生する電圧発生手段と、上記楔プリズムに印加する電圧と上記楔プリズムを通過する光束の傾き角度との関係を記憶した記憶手段と、上記ぶれ検出手段の出力と上記記憶手段の出力とに基づいて、上記電圧発生手段を制御する制御手段とを備える手ぶれ補正装置を提供する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

また、被写体像を画像データに変換するための撮像素子と、カメラの手ぶれの状態を検出するぶれ検出手段と、印加された電圧に応じて屈折率が変化する部材で構成され、変化した上記屈折率により、通過する光束の角度を変化させる楔プリズムと、上記楔プリズムに印加する電圧を発生する電圧発生手段と、上記楔プリズムに印加する電圧と上記楔プリズムを通過する光束の傾き角度との関係を示すパラメータを記憶する記憶手段と、上記楔プリズムに基準光束を投光した状態で、上記楔プリズムへ電圧を印加し、このときの撮像素子から出力された画像データに基づき、上記パラメータを決定する決定手段とを備えるカメラを提供する。